

6.58%、「少しよかった」が32.86%で、合わせて39.44%。これに対し、「悪かった」は19.21%、「少し悪かった」は41.35%で、合計は60.56%に達し、総じて「暗い一年」だった(左上グラフ参照)。

しかも、左下グラフからわかるように、個人的によかった人が半数を超えたことが、全体の評価を押し上げており、世の中を客観的に見たときの目は、もっと厳しい。

特に、教育や治安に、「児童虐待・自殺・いじめ・幼児誘拐など、毎日どこかで必ず事件が起こっている」(女・43・福祉関係)

「教育現場では自殺する子どもが増え、事件を隠蔽したり、形だけの詫いで終わったりしている」(男・58・サービス業)

と、批判が集中。

また、政治に関しては、「公務員の飲酒運転事故や県知事の談合汚職などがあった」(男・63・無職)

「造反議員の復党を見ても、政治が信じられない」(女・59・主婦)

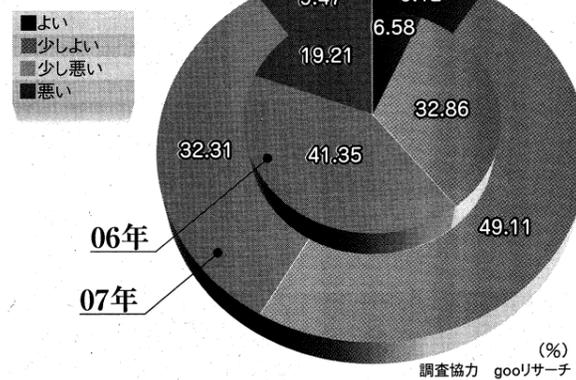
との声。景気についても、「ガソリンの高騰にはまいった!」(男・47・会社員)

「経済格差がより一層広がった」(男・25・会社員)

「いまだに社員になれない」(男・42・派遣社員)

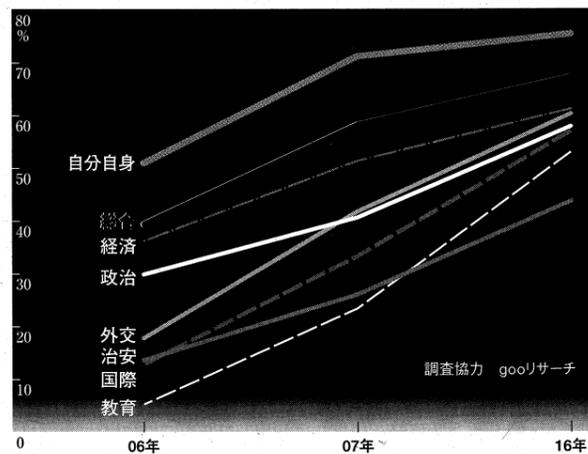
と、不満が上がり、結局、

### 06年と07年を比べたら...



### ジャンル別に「よい年」とした人の比率

(「よい」と「少しよい」の合計)



「退職した団塊の世代が、世の中の課題解決に費やす時間が増える」(男・37・システムエンジニア)

と、希望を託す声もあった。

また、若者からも、「未来は明るくなっているはず。自分も、少しでも社会に貢献できるように動きたい」(男・22・大学生)

と、力強い言葉が寄せられた。みんながそういう思いのぞめば、10年も待たずとも、07年にも、よいことが起きるに違いない。

◆ 今号では、景気、教育、北朝鮮、女子アナなど、分野別に07年を占っていく。

(本誌 石塚公康)

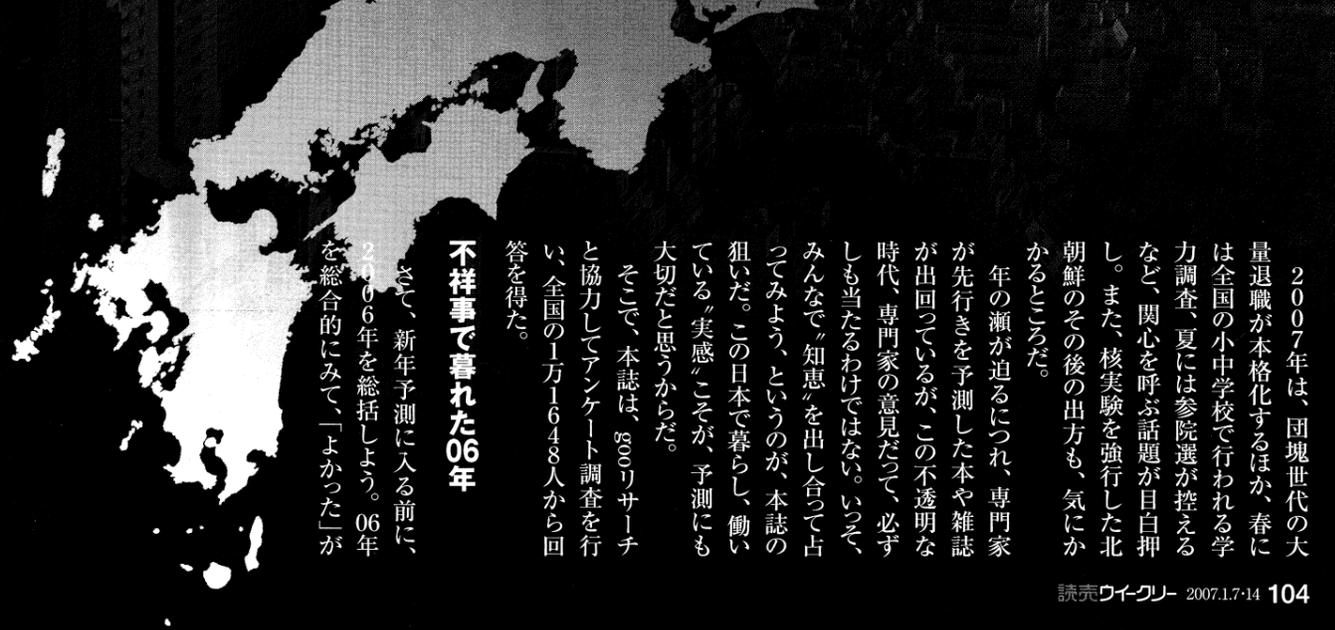


# 景気、教育、北朝鮮、女子アナ... 1万人が予測する 2007年

## 第1弾

2007年は、いったい、どんな年になるのだろう—  
本誌は、gooリサーチ (運営・NTTレゾナント) の調査協力を得て、  
全国の1万人に、景気のゆくえから、  
活躍が期待される芸能人、女子アナまで、大胆に占ってもらった。  
「当たるも八卦、当たらぬも八卦」で、ご覧いただきたい。

本誌 2007年予測取材班/協力 gooリサーチ/撮影 明田和也 読売新聞写真部(メーン写真除く)



「弱い者が苦勞するような年だった」(男・51・会社員)

ということらしい。

### 6割が「よくなる」

それでは、07年はどうなるのだろうか。総合的に「よくなる」と見る人は、58.23%と過半数を超えた。平成に入ってから、不況や暗い事件事故が続くなど、決して明るい時代とはいえないが、ここに来て薄日が見えたのだろうか。

「現時点で教育、治安、外交など、問題が多過ぎで、何も解決しないと思う」(男・22・税理士補佐)と根強い。

しかし、政治や外交の面で、「安倍総理になったので、アジア諸国との関係がよくなる」(女・25・会社員)

「拉致問題で進展が見込めそう」(女・29・会社員)

「政権も軌道に乗ると思う」(女・23・旅行業)

と予測。経済でも、「景気が好転」(男・71・無職)と見る声に押されて、「少しは給与が伸びるかな」(男・37・製造業)との期待もある。また、

「いのしし年だから、あわただしい年になりそう」(女・29・看護師)なんて、ご託宣もあった。

響する「男・32・自動車整備士)など、悲観論は32.71%止まり。7割近くの人が、「世の中を変えていくには教育が基本。教育問題に取り組み始めたので、10年後には少しよい結果が出ているのでは」(女・54・専業主婦)

「日本の技術はまだまだ世界に通用する。技術革新によってもっとよくなる」(男・31・会社員)

「今よりも科学技術、医療などで飛躍的に進歩している」(女・29・会社員)

「地球の環境を改善しようとする運動が起こり、徐々に事態は改善される」(男・72・塾講師)と、明るい未来を予測。

「北朝鮮・中東・イラクなど、どうなるかわからない」(女・59・リズム体操指導)

「学校の問題も含めて、犯罪はもっと凶悪化するのではないか」

さらに、10年後の2016年には、どうなっているだろうか。「深刻な少子高齢化で、外国人労働者に頼らざるを得なくなる」(男・50・会社員)

「年金の減額や税の負担増などで厳しくなる」(男・66・無職)

「貧富の差がもっと大きくなり、生活保護世帯が増える」(女・55・自営業)

「治安もどんどん悪くなっている、事件が多発しそう」(女・34・サービス業)

「中国の台頭が日本の国力に影響する」

「来年は明るくなっているはず。自分も、少しでも社会に貢献できるように動きたい」(男・22・大学生)

と、力強い言葉が寄せられた。みんながそういう思いのぞめば、10年も待たずとも、07年にも、よいことが起きるに違いない。

「来年は明るくなっているはず。自分も、少しでも社会に貢献できるように動きたい」(男・22・大学生)

と、力強い言葉が寄せられた。みんながそういう思いのぞめば、10年も待たずとも、07年にも、よいことが起きるに違いない。

(本誌 石塚公康)

# 女子アナ

## Q 最も人気を集める女子アナは？ 「フジ3人娘」が 上位を独占

まずは、軟らかいテーマから。ニュースからバラエティー番組まで、華を添えるのが女子アナだ。美しさだけでなく、知的な側面も要求される。

07年も引き続き注目を集めそう。そこで、人気を集める女子アナを尋ねたところ、上位の1、2、3をフジテレビが独占した。1位から、高島彩(27)、中野美奈子(27)、滝川クリステル(29)だ。

高島から、意見を紹介します。「かわいく、ウイットに富んでいる(男・31会社員)」「アナウンサーとしての資質もある(女・27・無職)」「バラエティーでもニュースでもいける、オールマイティー(女・29・主婦)」

など、「フジの朝の顔」として、男性ばかりでなく、女性からの好感度も高いのが「勝因」だったようだ。

「落ちついた物腰が好印象」(男・21・学生)「知的で品性を感じる。アナウンサーにふさわしい美しさ」(女・39・飲食業)

「きれいだし、他の女子アナにはない雰囲気。飛びぬけています」(女・38・会社員)と、ファンが多い。ただ、3位に甘んじた。

小林麻央(24)との相乗効果が見逃せない。ちなみに、妹の麻央は、日本テレビの夜のニュース番組「ZERO」を担当し、「初々しさがよい」(男・31・会社員)と、タレントにかわいい

「憎めない愛嬌がある」(女・33・会社員)との声。しかも、タレントで妹の小林麻央(24)との相乗効果が見逃せない。ちなみに、妹の麻央は、日本テレビの夜のニュース番組「ZERO」を担当し、「初々しさがよい」(男・31・会社員)と、タレントにかわいい

### 最も人気を集める女子アナ

順位	名前	所属	人数
1	高島 彩	フジ	760
2	中野美奈子	フジ	543
3	滝川クリステル	フジ(共同)	476
4	小林麻耶	TBS	424
5	平井理央	フジ	404
6	内田恭子	フリー	273
7	小林麻央	セントフォース	213
8	西尾由佳理	日本テレビ	173
9	山本モナ	オフィス北野	167
10	大橋未歩	テレビ東京	132
11	青木裕子	TBS	89
12	大木優紀	テレビ朝日	84
13	膳場貴子	フリー	76
14	安藤優子	フリー	46
15	斉藤舞子	フジ	45
16	有働由美子	NHK	44
17	海保知里	TBS	38
18	小野文恵	NHK	37
19	堂 真理子	テレビ朝日	35
20	久保純子	フリー	30

調査協力 gooリサーチ

フジ組を追撃する急先鋒は、TBSで多くの情報・バラエティー番組を担当する小林麻耶(27)。「女性アイドルたちと並んで司会をしても、ダントツにかわいい」(男・31・会社員)

「憎めない愛嬌がある」(女・33・会社員)との声。しかも、タレントで妹の小林麻央(24)との相乗効果が見逃せない。ちなみに、妹の麻央は、日本テレビの夜のニュース番組「ZERO」を担当し、「初々しさがよい」(男・31・会社員)と、タレントにかわいい

「落ちついた物腰が好印象」(男・21・学生)「知的で品性を感じる。アナウンサーにふさわしい美しさ」(女・39・飲食業)

総合情報サイト「All About(オールアバウト)」で、バラエティー番組ガイドを務めるライターの大川峯啓さんは、こう見る。「スキヤンタルさえなければ、高島さん、中野さんの人気は、あと2、3年は続くと思います。小林麻耶さんの人気は、局の起用法次第。ゴールデンタイムを担当すれば、まだまだ伸びる余地があるのでは。勢いの点では、7位

小林麻央さんですが、若くしてニュース番組を担当したことによるマイナス要素もこれから出てくるかもしれません。未知数です」

「落ちついた物腰が好印象」(男・21・学生)「知的で品性を感じる。アナウンサーにふさわしい美しさ」(女・39・飲食業)

「路チユー」がもとで番組を降板した山本モナ(30)。「バラエティー進出の話もあり、注目度が上がりそう」(男・28会社員)

「一年が明ければ吹っ切れて、本来の能力を発揮できそう」(女・58・看護師)と、声援も聞こえてくる(「112」の「人世彩」参照)。

07年も熱い女の戦いから目が離せない。

右から高島、中野、滝川、小林麻央、山本モナ、麻央、安藤優子、堂真理子、久保純子、小林麻耶、大橋未歩、青木裕子、大木優紀、膳場貴子、安藤優子、斉藤舞子、有働由美子、海保知里、小野文恵、堂真理子、久保純子(イラスト 松村宏)

# 北朝鮮

## Q 北朝鮮はどう動くか？ 「瀬戸際政策維持」が 3分の2

06年7月にはミサイル連射、10月には核実験強行と、北朝鮮は強硬姿勢を取り、諸外国との関係は悪化の一途をたどった。拉致被害者の帰国の見通しも全く立たない。07年こそ、事態が打開の方向に動き、北東アジアの緊張は緩和されるのだろうか。

鍵を握る北朝鮮の07年の出方について、回答者の約3分の2が、緊張を高めることで好条件を引き出す「瀬戸際政策を続ける」と答えた。一方、北朝鮮が融和的な「対話路線に転換する」という回答は、わずか7%弱にとどまった。

実際、12月18日に再開された6か国協議でも、冒頭から北朝鮮側は、米国の金融制裁の解除など「要求できる限りのことをデパート方式で並べ立て」(韓国政府高官)、協議は難航している。大方の専門家も、北朝鮮が「核保有」を誇示して交渉のハードルを上げ、瀬戸際政策を続けるという見方を示している。

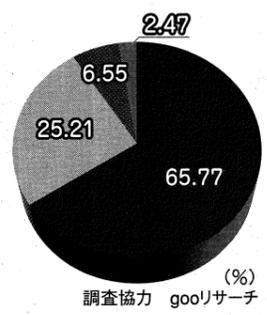
北朝鮮が「内部崩壊する」とい

う回答も、4分の1に及んだ。日米を中心とした経済制裁の強化などが、北朝鮮を崩壊に追い込む、と見る回答者が多いようだ。

崩壊説とも絡むが、「その他」を選んだ回答者からは、戦争や内部クーデターなどに関連する予測が多く挙げられた。

(「北朝鮮がアメリカに空爆される」(男・32・自営業)「東京に向けて核弾頭を発射し

ると思う」(男・19・学生)「気が強そうなので、時々、爆弾発言もしくは天然発言をしそう」(女・41・主婦)など。斜め45度の美女、滝川



6か国協議に臨む北朝鮮の金桂寛外務次官(奥右)。手前は米国代表団(12月18日、北京の釣魚台国賓館で。代表撮影)

ようとする」(男・36・IT関連サービス)「金正日総書記の亡命」(男・68・NPO法人)「金正日総書記が暗殺される」

「金正日総書記が暗殺される」(男・68・NPO法人)「金正日総書記が暗殺される」

「金正日総書記が暗殺される」(男・68・NPO法人)「金正日総書記が暗殺される」

「金正日総書記が暗殺される」(男・68・NPO法人)「金正日総書記が暗殺される」

「日本の取るべき道は？」では、日本政府は北朝鮮に対して、どう対応すべきか。

「時間をかけて対話する」(男・63・袋物縫製)「本当にミサイルを撃つべきか

「本当にミサイルを撃つべきか」(男・63・袋物縫製)「本当にミサイルを撃つべきか

「本当にミサイルを撃つべきか」(男・63・袋物縫製)「本当にミサイルを撃つべきか

「本当にミサイルを撃つべきか」(男・63・袋物縫製)「本当にミサイルを撃つべきか

「金正日体制を早く崩壊させるような朝鮮内部の勢力の台頭を促す」(男・61・無職)

「反体制グループへの支援、兵糧攻め、脱北支援」(男・63・定年退職者)

「実力行使による拉致被害者の奪回」(男・46・会社員)

「金一家を駆逐して、非武装地帯として国際管理を推進」(女・49・会社勤務)

といった大胆な策を求める声も出たが、現実の政策としては難しいだろう。

# 大リーグ

## Q 最も活躍する日本人大リーガーは？

# 実績のイチローが首位 松坂は10勝前後か

年末の話題を独占したのは、松坂大輔のメジャー入り騒動だ。すったもんだの末、レッドソックス入団に漕ぎ着けたが、07年も大リーグは関心の的であるのは間違いない。そこで、07年に最も活躍するであろう、メジャーリーガーを上回る、マリナーズのイチローがきた。

3位はヤンキースの松井秀喜。票は意外に伸びず、2位の松坂の半分以下だった。06年のシーズンは左手首の骨折で長期欠場を余儀なくされ、それが回答に響いたようだ。この上位3人が、全回答の約9割を占め、4位以下とはかなりの差があった。

イチロー、松井などは実績もあり、07年も一定の活躍が予想される。気になるのは、初挑戦組がどこまで通用するか。注目の松坂の勝利数を予想してもらったが、10〜14勝とする答えが38.75%と最も多く、次が5〜9勝の35.22%と、10勝前後が大勢を占めた。

では、専門家はこう見ている

### 最も活躍しそうな日本人選手

順位	名前	人数
1	イチロー	4352
2	松坂大輔	4167
3	松井秀喜	1899
4	城島健司	483
5	井川 慶	250
6	井口資仁	112
7	桑田真澄	82
8	田口 壮	65
9	野茂英雄	53
10	岩村明憲	51
11	松井稼頭央	41
12	斎藤 隆	27
13	森 慎二	18
14	大塚晶則	17
15	大家友和	15
16	多田野数人	10
17	入来祐作	6

調査協力 gooリサーチ

「西武では、調子の悪いときに登板を回避することもありますが」

球威や制球力は松坂に及ばないが、こと勝利数に関しては、ヤンキースが交渉権を得た井川慶が、松坂を上回る可能性もある、と高橋さんは指摘する。

### 井川が松坂を超える？

「大リーグは左の強打者が多く、

その点、左投げの井川は有利。ヤンキースは攻守に優れているので、ローテーション入りし、「5回まで」と割り切った投げれば、意外なほど勝ち星を伸ばすのは可能だと思えます」



実績で高支持のイチロー(左)と松井秀喜

### 松坂投手は 何勝上げるか？



調査協力 gooリサーチ

岩村明憲がデビルレイズに入るが、大リーグ挑戦に失敗した中村紀洋の二の舞になるおそれもあると、高橋さんが続ける。

巨人を退団した桑田真澄の動向も気になるが、ピッチャーとしての盛りは過ぎており、このままでは大きな期待はできない。そこで、高橋さんは、サイドスローへの転向を勧める。

「リーチの長い大リーグ選手が苦手とする膝元を、横手から突く。それぐらいしないと、出番はない」

(本誌 関仁臣)

# 教育

## Q 子どもたちの学力は上がるか？

# 7割以上が悲観的 学校不信根強く

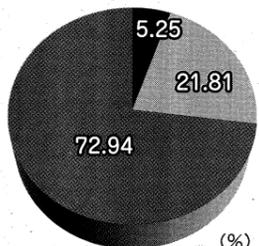
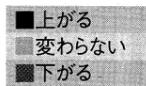
子どものいじめ自殺が相次いだ06年。「教育再生」を掲げる安倍内閣も誕生し、教育問題に注目が集まった。

安倍内閣は、年末に教育基本法の改正を実現。07年は、首相直属の教育再生会議が、1月にも第1次報告を答申するほか、教育振興基本計画の策定も予定されており、教育論議は、いっそう熱を帯びそうだ。

一方、4月には、全国の小6、中3の約240万人全員を対象にした、全国学力調査が実施される。試験科目は国語、算数(数学)だ。ここ数年、「ゆとり教育」の見直しで、各学校は、あの手この手で学力向上に取り組んできた。その成果を見せてほしいところだが、回答者の7割が、子どもの学力全般に関し、「下がると悲観的に見ている」。

その理由として、多くの人が、「ゆとり教育のダメージは、そう簡単に取り戻せない」男・48・公務員

### 子どもたちの学力は上がるか？



調査協力 gooリサーチ

「ゆとり教育をし過ぎた。自分は私立に通っていたから問題なかったが、公立の妹を見てそう思う」(女・18・高校生)

「円周率を3として計算する方向に変わった時点から、下がった気がする。私たちは難しい問題を解いてきたのに、同じ小学生でこうも変わるの、不思議」(女・46・無職)

学校への不信感も根強くあるようだ。

「先生の質の低下、自信喪失で、児童、生徒が意欲のある授業を受けられなくなっている」(男・64・会社員)

「いじめ問題対処などのため、今の学校に学力を上げるための余力は残っていないのではないかとと思う」(女・40・病院職員)

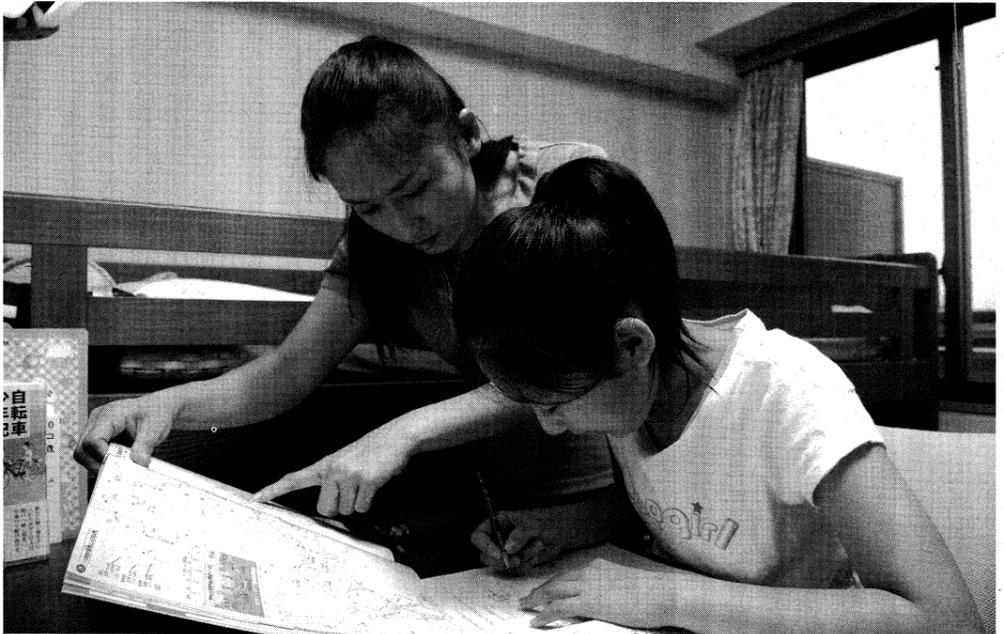
さらに、学力の「二極化」を心配する声も多かった。

「できる子とそうでない子の差が大きくなれば、公立校の指導力はさらに低下する。塾や私立に通える富裕層の子と、学習しなくてもできない子とに、はっきり分かれるのではないか」(女・54・主婦)

**全国学力調査がテコに？**

教育評論家の田中雄さんが話す。

「学力調査では、ある程度、低下傾向が表れるはず。その結果を文部科学省が反省することから、改革は始まると思います。これまで文科省と各都道府県との教育委員会が取ってきたような上からの統制では、学校現場は良くなりません。個々の教師の



目まぐるしく変わる教育政策。これ以上振り回されたくないと思う親も子も多いはず

自主的な取り組みを助ける方向で、進むといいと思います」

その全国学力調査については、「先生の指導能力も問われることになり、学校でもそれなりの指導をしなくてはならなくなる」(女・46・芸家)

「競争が生まれ、学力向上に向

けて、家庭も教育現場も躍起になりそう」(女・41・会社員)

と、実施がテコになり、学力向上に結びつくことを期待する意見も寄せられた。

ぜひ、07年を「学校再生」の始まりの年にしてほしいものだ。

(本誌 渡辺理雄)

芸能人

Q 最も活躍する芸能人は？

男性は「SMAP」  
女性は「長澤まさみ」

「ジャニーズ強し」を印象づける結果となった。なかでも、ケタ違いの強さを見せたのが、SMAP。1375人と、実に回答者の1割以上が、その名を挙げた。そのうえ、メンバーの木村拓哉がランキング上位に来ているのだから、おそれ入る。

「メンバー各人が、新しい方向性を試しており、各人がうまくなっている(男・56・会社員)」など中高年男性の評価も高い。

事務所の後輩、KAT-TUNの勢いもまたすごい。06年はメンバーの離脱もあったが、それでも堂々の2位で、メンバーの亀梨和也もランクインした。「今いちばん勢いがある。メンバーが抜けたことで、それぞれが頑張り、グループの絆も深まると思う(女・34・主婦)」と、主婦層も熱い視線を送っている。

ジャニーズ以外の男性芸能人は、バラエティー系のタレントや司会者が大半。7位にランクされ

た、小池徹平とウエンツ瑛士のイケメン音楽ユニットWatは、一発屋で終わらない支持を受けている。

若手お笑いでは、「欧米か!」という妙なツッコミがウケているタカアンドトシ、「武勇伝」のネタで人気になったオリエンタルラジオ、スケ番の扮装で毒舌を吐く

桜塚やっくんが、ランク入りを果たした。陣内智則に関しては、女優の藤原紀香との結婚を契機に、いっそうブレイクすると予想する人が多かった。

新庄剛志は、現状は「元野球選手」であって、芸能人ではないが、「ほかにないキャラクター」と

最も活躍する男性芸能人

順位	名前	人数
1	SMAP	1375
2	KAT-TUN	386
3	明石家さんま	280
4	みのんた	213
5	爆笑問題	174
6	木村拓哉	165
7	Wat	146
8	タカアンドトシ	136
9	新庄剛志	133
10	島田紳助	119
11	オリエンタルラジオ	112
12	ピートだけし	106
13	陣内智則	104
14	くりいむしゅー	101
15	桜塚やっくん	98
16	亀梨和也	88
17	ダウンタウン	86
18	TOKIO	71
19	玉木 宏	71
20	コブクロ	64

調査協力 gooリサーチ

最も活躍する女性芸能人

順位	名前	人数
1	長澤まさみ	265
2	伴田来未	235
3	仲間由紀恵	170
4	竹内結子	137
5	宮崎あおい	84
6	沢尻エリカ	77
7	絢香	76
8	上野樹里	69
9	新垣結衣	67
10	石原さとみ	54
11	ハリセンボン	43
12	志田未来	42
13	藤原紀香	39
14	綾瀬はるか	29
15	相武紗季	27
16	蒼井 優	25
17	南海キャンディーズ*	24
18	浜崎あゆみ	24
19	蛭原友里	21

\*男女のコンビだが、調査では「しずちゃん」こと山崎静代の注目度が特に高かったの便宜上、女性に入れた



女性芸能人1位の長澤まさみ

女性は若手女優上位

バラエティー系のタレントが主の男性とうってかわり、女性芸能人のランキングは、若手女優が多くを占めている。

宮崎あおい、沢尻エリカ、綾瀬はるか、上野樹里、石原さとみ、新垣結衣ら20歳前後の同世代の女優がひしめくなか、他を引き離し、トップに立ったのは、長澤まさみ。映画「世界の中心で、愛を叫ぶ」で脚光を浴び、以後、コンスタントに映画やドラマで主役を張り、若手男女を超えた人気を持つ。

「彼女のような爽やかさ、強さを持った女優はほかに見当たらない。元気をくれる女性(女・32ライター)」

という評価もあった。志田未来は、大ヒットしたドラマ「14才の母」での好演が票に結びついた。

「演技力と表現力が素晴らしい(男・43会社員)」と、とりこになった中高年男性も多い。実年齢は13歳。どこまで伸びるか、楽しみな存在だ。

女性の2位は、「エロかったい」歌手の伴田来未。同じく7位の絢香は、19歳になったばかりの本格派シンガーだ。

以上は、あくまで予想。誰がどんな形で大ブレイクするか、わからないのが芸能界だ。(本誌 関仁巨)

景気

Q 景気拡大はいつまで続くか？

6割が

「夏まで」でストップ

長さだけなら「いざなぎ」を超えた現在の景気拡大だが、いったいいつまで続くだろうか。

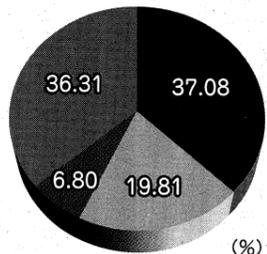
アンケートでは、「一年中続く」が36・31%で、「春まで」と「夏まで」の合計が全体の6割弱と、あまり長続きしないと見る人が過半数を占めた。春までと見る人からは、「本当の意味で雇用の拡大がなされていないから(女・31・会社員)」

など、依然として雇用情勢が不透明だとする指摘が目立つ。その結果、収入の二極化が進み、消費の本格回復がないまま、景気が再び低迷するという図式だ。

なかには、「格差が広がっているだけで、底辺の収入は下がる一方、そろそろ不満が爆発する(男・41無職)」という怒りの声も。「一年中続く」と回答した人も、無条件で楽観視しているわけではない。

07年、日本の景気拡大はいつまで続くか？

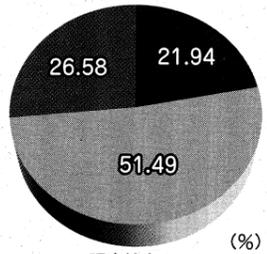
■春まで  
■夏まで  
■秋まで  
■一年中続く



調査協力 gooリサーチ

自分自身の収入は06年より増えるか？

■増える  
■変わらない  
■減る



調査協力 gooリサーチ

節約・資格で生活防衛

法人税軽減の流れなど、国の政策をめぐっても、いい思いをするのは企業ばかり、という見方が挙がっている。

「税制の企業優先が国民の反感を買う、消費も低迷することは必然(男・71・無職)」とする意見の一方で、地方切り捨ての懸念も根強くある。

「地方を切り捨てる政策では、中央のみ景気拡大し、地方は冷えていくばかり(女・41・事務職)」

さらに、そもそも経済指標に基づく景気回復に「実感がない」と疑問を呈する人も、かなりいる。「景気拡大など今の時点で、「幻想」である。大企業はそうなのかもしれないが、消費者が財布のヒモを緩めるとは思えない(男・47・自由業)」



伸び悩む株価が実感なき景気拡大を裏付ける(写真は東証)

一方、楽観論の多くは、「企業業績の好調が個人所得の向上に波及し、来年は個人消費も伸びて、景気的好調が持続される(男・67・自営業)」など、景気拡大が企業から個人へ浸透すると主張する。自分自身の収入の見通しでは、「変わらない」が51・49%と過半数で、「減る」を含めると8割近くを占める。伸び悩む収入が、景気に対する見方を悲観的にしているのは間違いない。

生活防衛の方法を聞いてみたところ、「節約」と「投資」が大半を占めたが「副業」「資格」を挙げる人が意外に多かった。「収入源を複数作る(男・68・洋服リフォーム業)」資格を取り、収入の多い仕事に転職するため勉強中(女・33・派遣社員)といった声も聞かれた。賢くも、自己防衛の方策を考えているのだ。(本誌 高畑基宏)